

10月の薬草園

❖一面落ち葉のカーペットに



【開花中の植物】



❖チャ *Camellia sinensis*
(ツバキ科)

生薬名：茶葉（チャヨウ）
使用部位：葉
茶葉として煎茶やほうじ茶の原料となる馴染みの深いチャノキ。発酵させると紅茶、半発酵でウーロン茶となります。



❖ホソバオケラ【局】

Atractylodes lancea
(Thunb.)DC. (キク科)
生薬名：蒼朮（ソウジュツ）
使用部位：根茎
オケラとして山野草として親しまれていました。



❖シオン

Aster tataricus L.f.
(キク科)
生薬名：紫苑（シオン）
使用部位：根、根茎



❖ウツボグサ【局】 *Prunella vulgaris* L.
(シソ科) 生薬名：夏枯草（カゴソウ）

使用部位：果穂
初夏に爽やか青紫の花を咲かせますが、別名ナツガレソウといわれるように、花後すぐに花穂のみが枯れてしまいます。



❖サラシナショウマ【局】

Cimicifuga simplex
(キンポウゲ科)
生薬名：升麻（ショウマ）
使用部位：根茎
サラシナ（晒し菜）というように苦みがあるため晒してから食用にします。山野草として愛好家も多い植物です。





☆シソ 【局】

Perilla frutescens (シソ科)

生薬名：蘇葉（ソコウ）

使用部位：葉、枝先等の地上部

◆蘇りの薬草（紫蘇）。昔中国の医師が、亡くなるが多かった食中毒患者に赤しその葉をすりつぶして与えたら回復したという伝説から紫蘇と名がついたようです。

◆紫蘇と大葉の違いは??

葉の形そのままで香味野菜として使う場合は大葉（緑葉）。葉と芽、花穂などを含むシソ科シソ属の植物の総称ではシソという言葉が使われるようです。



☆レモングラス *Cymbopogon citratus* (イネ科)

別名：レモンガヤ

生薬名：香茅（コウボウ）香茅根（コウボウコン）

大きく成長したレモングラスを1株カットをして、農園へ移植してもらいました。収穫したレモングラスはドライにしてお茶やお料理、虫よけなどに活用します。レモングラスの種が売っているのを見た事がありますが、いったいどんな花が咲き、種が採取できるのか？長年レモングラスを育ててきましたが、花を見た事はありません。調べてみると熱帯地方原産の植物で開花時期は7月～10月のようですが、やはり日本ではめったに咲かないそうです。



【開花中の美しい毒草】



✧ヒガンバナ *Lycoris radiata*
(ヒガンバナ科)

生薬名：石蒜（セキサン）

秋のお彼岸に美しく花を咲かせることが名前の由来で、リコリスや曼珠沙華（マンジュシャゲ）という別名でも知られています。また英名ではその姿からレッドスパイダーリリーとも言われています。お墓の周辺や田んぼの畔道などでよくみかけるのは、ヒガンバナが特に球根に強い毒性を持つ植物であり、それを利用して、モグラやネズミからご先祖様や農作物を守るために植えられたからです。

✧キダチチョウセンアサガオ
Brugmansia spp. (ナス科)

生薬名：朝鮮朝顔

英名：エンジェルトランペット

花の少ないこの季節でも元気に大きな花をたくさん咲かせ、薬草園に色を添えてくれています。

同属のチョウセンアサガオは和名を曼荼羅華（マンダラゲ）と呼び華岡青洲が麻酔薬として用いたことで有名です。幻覚作用がある毒草です。



薬用植物園 設楽 満希
園長 榊原 巖